



大井第一小学校

同窓会 会報16号

発行責任者 大野 正恒 2014年4月

第7回同窓生の集い

鹿嶋神社祭礼の日 10月19日(日) 11時～15時
懐かしい「大井第一小学校」に集まろう 会合・集合場所としてもご利用ください。



新企画

同窓会はクラス会・同期会を応援します！
記事と写真で補助金をさしあげます。
(詳細は6ページをご覧ください。)

大井第一小学校に着任して

校長 大数見 仁



陽がのぼる 陽がのぼる

希望の丘に 陽がのぼる

千古不滅の 白雪の

きよき姿は わたしの心

知識の泉 みなぎる力

ああ われらの大井第一

これは、大井第一小学校校歌からの抜粋です。

歴史と伝統の偉大な力を感じる歌詞でもあります。「千古不滅」つまり永遠に滅びることのない学び舎であることを強く意識します。開校百三十八年の歓喜と苦難の歴史です。一万九千余名の同窓生を配する、太く強固な絆が私たちを鼓舞します。

平成24年4月、第二十九代校長として着任し、「第一」の名に恥じない学校創りの重みを胸に深く刻み色

彩豊かな学校にすべく奮闘する毎日です。

大森貝塚の記念碑を日本で唯一学区にもつ学校です。

アメリカポートランド市との交流を小学校で唯一行っている学校です。

歴史と文化に学び、国際社会に目を向け知識と視野を広げる学校です。さて、『杜子春』を読み、最後の場面に涙した自分がいたことはなかったでしょうか。

大型車両が頻繁に往来する路上に、けなげに咲く可憐な花に自分を強く奮い立たせたことはなかったでしょうか。

喜びがあり、感動がある。だからこそ生きることへの感謝の気持ちが生まれてくるのだと考えます。

確かな学力、豊かな感性、強い心を築く学校創りこそ同窓生の皆様の信託に応えることと受け止め更なる学校教育の充実に努めます。

大井第一小学校が、常に「おらが学校」として自慢できるように大井第一小学校が、常に「我が母校」として誇りをもてるように皆様とともに更なる歴史を築いていきます。



今、一番伝えたいこと

旧教職員 平成10〜16年

山下 英子

大井第一小には、6年間在職しました。

一番の思い出は、転任したその年に5年生を担当し、総合学習で「ビオトープ」を造ったことです。最初は、「ビオトープ」と言われても何か分かりませんでした。校庭の隅に自然に近い環境を造ったのです。



学年園の一つにビニールを張り、池を造りました。木が必要ということで、同僚と一緒に中型トラックを借り、長野県まで木を貰いに行きました。朝早く出発し、学校に戻った

のは夜の9時頃だったと思います。

子ども達は楽しそうに作業していました。ただ、池を造っても浄化装置がなかったため、すぐヘドロ状態になり、ヘドロをすくってはきれいな水に取り換えるという繰り返しでした。きつと、保護者の方は、子ども達の洋服や靴の汚れに驚かれ、洗濯も大変だったのではないのでしょうか。

その「ビオトープ」も10年以上たった今、どうなっているのでしょうか。懐かしいです。

9年前に夫が原因不明の病気になり、車椅子生活を余儀なくされたのを機に、私も退職しました。夫が身体障害者となり、社会に出て生活することの困難さを痛感しています。

幸い夫は手だけで運転できる車であちこち出かけていますが、駐車場・トイレ等障害者用であるにも関わらず、健常者が使用して、使えないことが多々あります。

また、テレビで障害者が登山や水泳等にチャレンジして頑張っている姿が感動を呼んでいます。障害者にとってはただ生きるだけでも十分大変であり、頑張らなければできないことだと私は思うのです。

施設面ではすぐにバリアフリーにすることは難しいですが、せめて障害者への理解を深め、思いやりをもって接してほしいと願わずにはいられません。今、私が強く望んでいることを文章にさせていただきます。

「暮しの手帖」創刊者

大橋鎮子さんを悼む

昭和14年竹組卒 津田 照通

大橋鎮子さんは、10歳の年にお父様を亡くされました。昭和6年大井第一小学校から府立第六高女（現都立三田高校）に入学。卒業後、就職、大学への入学、病気療養等を経て終戦直後「スタイルブック」創刊。昭和23年「美しい暮しの手帖」創刊。昭和26年「美しい暮しの手帖」と名を変え、女性の目線で、女性の声を代弁した雑誌として斬新なアイデアの編集が大衆に受け、最盛期は100万部近い部数を発行。その名前を知らない人はいない程の国民的な雑誌でした。

昭和44年からは、エッセイ「すてきなあなた」を同誌に連載、平成6年には、東京都文化賞を受賞しました。まさに雑誌と共に生きられた生涯でした。

（平成24年3月没。享年93歳）

妹さんの大橋芳子さん（昭和12年卒）も創刊者の一人であり、エッセイストとして「エプロンメモ」を刊じています。



昭和27年の大橋鎮子さん

同窓会会報を

送っていただき：

赤澤 敏子(旧姓齊藤)

同窓会会報を送っていただき有難うございます。

私は5年生まで大井第一で、父の勤務により大阪に戻りました。卒業は致しておりませんが、5年間のことが次々と思い出されてまいります。今では忘れていたことの方が多いのでしようが、1・2年は柳沢先生でした。3・4年はたしか園城寺先生で、今でもお顔ははっきり覚えています。前回の会報で先生のご息が書いていらつしゃいましたので。

先生のお宅に不発弾が落ちて無事に取り除かれたことがありました。私は父とお見舞いに向かったのです。その時の怖かったこと今でもはっきり思い出されます。そのあと戦争も激しくなり私も大阪・九州と転々としながら戦後東京にもどり、今81歳、まだ元気です。感謝し大井第一の生徒であったことを嬉しくなつかしく思います。

卒業生ではない私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



同期会・クラス会報告

昭和14年卒 同期会

昭和14年竹組卒 津田 照通
 毎年5月15日(母校の開校記念日)に開催の同期会は16名の参加者で楽しいひとときを過ごしました。次回は「米寿を祝う同期会」として5月15日(木)に開催します。
 詳細は後日お知らせします。



喜寿記念同期会を迎えて

昭和23年松組卒 土肥 義尚

昭和23年卒業の私たちの学年は、小学校(当時は国民学校)4年で敗戦を迎えた。第一小学校はそれより三ヶ月ほど前の5月に第2回の東京大空襲で見るとも無惨に焼け落ちてしまった。ちなみに米軍は日本国民の戦意を喪失させるためにわざわざ3月10日の陸軍記念日(日露戦争の勝利記念日)と5月24日の海軍記念日(日清戦争の勝利記念日)を狙って大空襲をしかけてきたものという。このため当年を含む前後各3年程の学童は浜川小学校を借りての二部授業を余儀なくされた。

昭和22年の秋頃から第一小学校焼け跡の瓦礫と赤錆びた鉄くずの山が整理され始め、23年3月には池上通りに面した一棟の木造平屋建ての校舎の建築が始まった。私たちが何としても母校の地で卒業させてやりたいという先生方・父兄一丸となったのご努力で、ようやく床と壁はできたが、まだ青天井で窓も入っていない吹き曝しの校舎で緋毛氈を敷いた床の上で、その当時は大変なご馳走であった赤飯を頂いて卒業したのであった。
 以来早くも65年の歳月が過ぎみんなな良き爺・婆となった。しかし、日頃は近所のごく一部の友人としか会うことができないために今回の集まりは27名もの参加を得て、旧

交を温める良い機会となった。大勢の集まりはこらで一区切りかと思うが、一方で来年も是非という声が多く上がっている。



伝え聞くところでは、車椅子や杖の必要な人も出てきたのでもう止めだという学年もあれば、片や喜寿の集まりを契機に毎年集まることになったという学年もあるようだ。我々はどうするか迷う処である。

喜寿の集いを終えて

昭和24年松組卒 中村 光伸

大井第一小学校に入学して70年。大井第一小学校を卒業して64年。我々昭和24年卒業生は、77歳。殆どの人達が薬を飲み飲み病院通いをしているようですが、皆さん有意義な

人生を送っておられます。此の度、3名の方がお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

戦争があり、疎開があり、そして終戦・食糧難と今考えると小学生6年間は、大変混沌の時代でした。つくづく「平和」の有り難さに感謝しております。

さて、我々の「喜寿の集い」は、今年平成25年11月12日に横浜みなとみらい、東急ベイホテル3F「トウランドット游仙境」に於いて開催。出席者は26名(男性12名・女性14名)。遠くは奈良・埼玉・千葉県と多方面からお集まり頂き、大変楽しく、懐かしい束の間の時間を過ごすことができました。



帰り際には、多くの方達に、次回は「何時同期会を開くのですか」「それとも80歳(傘寿)にするのですか」と問い掛けられ、次回のプランを立てなくてはと、責任を感じております。

『大井町には素敵な会場がありませんか。』教えて頂ければ幸いです。

これからも健康第一に、一日一日を大切に楽しい日々を送ることに心掛けましょう。

同期生のみなさんお元気で……。皆さんから沢山のお礼(写真等)のお電話・お手紙を頂きありがとうございます。

松崎先生へのオマージュ

昭和25年竹組卒 柳瀬 敬子

6月23日大井町「レストランひろせ」にて松崎濤子先生の米寿をお祝いする会を開催いたしました。34名にお知らせを出し出席者25名、これは驚異的な出席率です。

初めに「ハッピーバースデー」を歌い(先生からご指導を受けましたので皆歌は得意です)先生からお言葉をお読みした後、「ひろせ」特製のお料理を戴きながら各自近況報告をいたしました。先生は米寿を迎えられるとは思えないほど若々しくいらつしゃいますが、私達生徒の方は、近いうちに先生を追い越してしまふのではないかと皆心配しています。今は何があってもおかしくない時代ですのういずれそういうことが起こ

るかもしれません。私達は人格を形成する一番大切な時期に先生のような方に巡り合えて本当に幸せでした。

いつも、今でも私達に寄り添っていただく松崎先生に心から乾杯を!!



松崎濤子先生の米寿をお祝いする会 平成25年6月23日 於「ひろせ」

同窓会雑感

昭和28年梅組卒 立花 記久丸

私共、昭和28年3月に母校大井第

一小学校を卒業いたしました。松竹梅雪の4クラス、総勢227名でした。卒業以来、各クラスごとの同窓会はそれぞれ行われていたが、4クラス合同の同窓会を今回も久しぶりに去る平成25年11月8日、大森東急インを会場に行いました。

卒業後60年も経ちますと案内状の送付先も150余名の判明者の中で39名の出席を得られたのは何よりの事と思います。

その日は、それなりに老いた顔立ちの中に遠い昔の面影をお互いにさぐりつつセピア色の記憶もう一度カラフルに修正できほつと一安心といったところですか、弾んだ会話の内容はと云うと、ご多分に漏れず年相応に通院から投薬、病名のやり取り自分の現状、孫に至るまで少ない時間での情報交換は誠に忙しく秒針との闘いとも感じられたところです。

斯様な中で、松組担任の衛本先生を始め、竹組・村田先生、梅組・斉藤先生、雪組・新堂先生の諸先生方と共に、今日知り得る範囲では級友も既に30余名の方々が故人となられている現状です。当日の出席者たる私共は、故人を偲び、且つ止む無く欠席された級友の分まで含め大いに語り合ったことでした。次回の開催は余り間をおかないようにとの切実な声を尊重しつつ盛会裡に終えることが出来たことに幹事一同大いに感激し再会を楽しみに晩秋の月明かりの中、それぞれ名残惜しうに家路に着いたことでした。

同窓生の集い&同期会

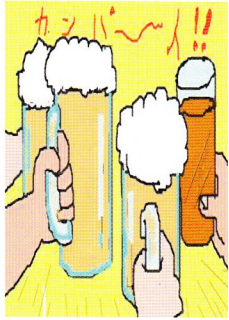
昭和34年月組卒 落合 宏文

平成25年10月20日(日)、晴れていれば歩いていったのですが、かなりの雨、大井町駅前からバスに乗り込みます。

小学生の頃、鹿嶋神社の祭りという決まったように雨、そして今日、鹿嶋神社の祭りは雨。学校の手前の横断歩道を渡ると屋台が連なります。それは鹿嶋神社の先まで続いて、歩くのも大変なほどの賑わいでした。遠い昔です。卒業以来、半世紀と5年ぶりくらい、第一小学校の門をくぐります。案内された会場には学校創設時、大正時代から近年まで、初めて見る写真、見覚えのある懐かしい写真、先生やクラスメイトの顔・顔・顔。いろいろ展示されています。

会場奥ではアロハシャツの先輩? が懐かしい曲を演奏されています。暫く聴き入っておりますがそろそろ同期会の始まる時間です。同期会場に向かいます。会場に到着、クラス毎のテーブルには数名ずつ始まりを待っています。すぐにわかる方、名札を見てわかる方、見ても思い出せない方、時の流れを感じます。前回の同期会は17年前、平成8年でした。亡くなられた先生方や同期生の冥福を祈り黙祷。ただ一人ご健在の古賀先生の挨拶、梅組の担任でした。心臓他あちらこちら病んでおられるということですが無理を押し

て参加してくださいました。自己紹介の始まりです。卒業以来、初めて参加された方、外国にいて戦火を免れた方。月組では遠路兵庫県から参加してくれた方、これが最後の…なんて言わないで。人それぞれ、いろいろな人生を体験されて今日まで。乾杯、昔話の始まりです。



母校(大井第一小学校)の現状

同窓生の皆様に母校の今の状況を知って頂くために、大数見校長と辻松副校長へのインタビューを行いました。同窓生記者の私見も交え報告いたします。

1. 在校生の状況(平成25年度)

在籍児童数は792名(品川区立では一番多い) 昨年より微増
うち区域外は256名
6学年ともすべて4学級です。
学校選択制で区域外からの入学希望者も多いのですが、区域内優先で定員の残りを「抽選」で受け入れている状況です。

品川区内でも1学年4学級もあるのは珍しく、今でも有名小学校の伝統は受け継がれています。
松組・竹組・梅組・月組の名もそのままです。

2. 卒業生の進路(平成24年度)

伊藤学園	52名
私立	50名
他	14名
計116名	

*伊藤学園は旧伊藤中学校で現在は小中一貫校になっています。
約半数は地元区立の伊藤学園ですが、私立にも約半数が進学し受験校の特色が出ています。

3. 学校教育状況

*教育目標

「考える子」「思いやりのある子」「健康な子」

*経営の基本理念

「かかわる」「創る」

*学力の定着状況

昨年同様、全国統一学力テストの結果は全学年、全国平均を上回っています。方策として「算数の少人数指導」「指導助手の導入」「1年生からの辞書使用」「朝学習英会話」「夏休みの個別学習」地域をキャンパスにした学び」等を行っています

・英語の授業は1年生から週1回行っています
・「市民」という授業が週3回ほどあります。品川区独自の授業で、「道徳」を発展した内容になっています。

4. 母校の悩み

地域とのかかわり学習において、指導できる題材・人材が欲しいとのこと。

5. 同窓会への期待

周年行事への協力が挙げられました。140周年に向けて、今年から準備委員会が発足する予定です。同窓会としても積極的に参画していきます。

*過去の協力事例

120周年「杜の哲学者」像建立
130周年「防犯カメラ」設置
その他 朝礼台・テント寄贈



***** 平成25年度の教職員の移動 *****

- | | |
|-------|--|
| I 退職 | 教諭 米谷 友里 |
| II 転出 | 校長 大島 久幸
(品川区立鈴ヶ森小学校へ)
主任教諭 杉浦 紀彦
(品川区立伊藤学園へ)
教諭 東 満里奈
(品川区立鈴ヶ森小学校へ)
教諭 安藤 悠
(世田谷区立深沢小学校へ)
教諭 桜井 志穂
(品川区立小山小学校へ)
教諭 福島かをる
(千代田区立富士見小学校へ)
教諭 山崎 卓也
(町田市立忠生第三小学校へ)
養護教諭 松浦 由佳
(品川区立日野学園へ) |

物故者

平成25年6月20日逝去
徳永 昭典 先生
(昭和25年〜34年)
謹んでご冥福をお祈りいたします。



理事紹介

前号で紹介しました理事に新たに3名加わりました。尚、藤川敏氏は退任しました。

理事 栢原 康郎 (昭和26年卒)

昭和37大学卒業後化学会社に勤務。主に製造・企画部門を歩む。タイの子会社に3年勤務の経験。化学会社退職後は小さな医療機器製造販売会社に13年間勤務。

趣味は謡曲、太極拳。日本酒党。

理事 木村 稯良 (昭和40年卒)

まだ現役の木村です。加入理由は、還暦を機に昭和40年卒の同期会をやりたくて手掛かりを得ようと考えたからです。どうぞよろしく。

理事 小林真智郎 (昭和48年卒)

大井生まれの大井育ち、大井で会社を経営する傍ら熱い仲間と共に様々な社会貢献活動をしています。家族は妻と娘二人猫一匹で、テニス、スキー、お酒が大好きです。宜しく。

クラス会・同期会支援

投稿して補助金をゲットしよう

当補助金制度の仕組み

①クラス会・同期会報告投稿

開催報告記事(400字以内)

出席者の集合写真(数名以上)

クラス又は同期の最新名簿

幹事の卒業年・氏名・住所

②幹事へ補助金一万円送付

投稿の到着後現金書留にて送金

③回数と期限

1クラス会又は1同期会につき

1回/年

平成26年4月〜平成27年3月

20日まで投稿受付

④送付先

メール又は郵送で平林幹夫宛

*尚、投稿していただいた記事と写真は同窓会会報又はホーム・ページに掲載いたします事をご了承下さい。

第6回同窓生の集い

「ふるさと大井町」

私達のふるさと大井町駅周辺は、阪急の新ビル建設により大きく変貌しつつあります。

今回は、皆様のご協力により集まった写真をもとに昔の大井町を懐かしんでいただくとともに、今日の街並みの写真も展示いたしました。

会場にお出でいただけなかった方にも、ふるさと大井町の移り変わりを本誌にてご覧いただきました。一部掲載いたしました。



上は現在の大井町駅付近の写真で、下は昭和30年代の写真です。駅ビル(アトレ・アトレ2)ができ、駅前ロータリーや駐輪場も整備されてとても整然としています。ここには、載せていませんが、阪急百貨店も昔の本館・新館・ホテルと全てが順次建て替えられ「阪急大井町ガーデン」として生まれ変わりました。今春、一番最後にホテルがオープンです。





「同窓生の集い」報告



平成25年10月20日(日) 11時～15時、母校の多目的室において開催されました。

第6回目にして初めて悪天候となり、来場者も多数ではありませんでしたが、その分、来場者の方々にはゆつくりとご覧になっていただけた。また。

本年のテーマは「ふるさと大井町」と題して、大井町の昔と今の同じ場所の写真の比較展示をして時の流れを写しだしました。(6ページ写真) 毎年、少しずつですが展示内容も変えて、同窓生の皆様をお待ちしておりますので、次回は、是非、ご来場ください。

(「同窓生の集い」実行委員会)



おなじみのハワイアン演奏

振替用紙の通信欄より

○93歳(S7年卒)。南国沖縄で妹(屋部公子、S16年卒)と二人なんとか生きています。小学校を懐かしみつづ...

(S7年雪組卒 宜保 雪子) ○87歳です。聖書とヨーガとカラオケで元氣。「立って」「歩いて」います。

(S13年竹組卒 石坂 雅彦) ○磯邊澄子89歳、磯邊千鶴子87歳、磯邊千恵子87歳、三人仲良く、どうにか生きています。

(S13年梅組卒 磯邊千恵子) ○カラー化、綺麗になりました。

(S13年月組卒 榎本 勉) ○いつも何かとお世話様になり、ありがとうございます。これからも同窓会のためによりしくお願い致します。

(S13年雪組卒 松崎 滯子) ○浅野眞さん(元同窓会会長)、同期でしたので心が痛みます。いつも、会報たのしみに読んでいます。

(S16年雪組卒 難波 英子) ○医師の友人には天寿魔とも云われましたが、82歳遂に、胃癌になりました。と勤務を続けていましたので(広島)、友人たちとの付き合いの整理をやり始めました。抗癌剤を飲んで延命をはかっています。

(S18年月組卒 菅野 義信) ○会報15号7ページに昭和19年卒、水沢様。旧姓伊藤和子さんのこと。よく覚えています。私は旧姓團仲子です。なつかしかったです。

(S19年梅組卒 越智 伸子) ○いつもお心にかけて頂き有り難うございます。足が不調でご無沙汰ばかりで申し訳ございません。

(S21年女組 相沢 晴美) ○同窓会報15号をお送り頂きありがとうございます。カラー化されて、一層、親しみやすい会報を楽しませて頂いています。

(S25年竹組卒 津川 幸子) ○学校が近かったので姉二人・弟二人・私・弟の子達、みんな第一小卒です。大好きな松崎先生や武井先生、ヒマラヤ杉の下での授業など思い出多い母校に感謝。

(S25年梅組卒 吉村 陽子) ○いつも有難うございます。弟(木幡宏通)もちょうど帰国しています。会報6号～15号まで読んで、スペインに帰りました。

(S28年竹組卒 佐藤 純子) ○先日、同期有志が集まりました。小学校卒業以来56年ぶりに親友に会うことが出来て感謝しました。「同級生は良いなあ」とつくづく思いました。

(S32年月組卒 新井 清子) ○会報がカラーになり、写真も美しく、見易くなり、嬉しく思います。事務局、編集の皆様方に感謝しています。

(S32年竹組卒 望月 静子) ○とても楽しいわかり易い会報に：ますますの皆様のご努力を感じました。いつもありがとうございます。(S35年竹組卒 上野 良子)

○同窓会事務局の皆様にはお世話になっております。

(S35年雪組卒 松崎 恵子) ○5人の子供に恵まれ末っ子が高校生になりました。やっと一息です。

(S47年梅組卒 豊邊めぐみ) ○母校の頭在をいつまでも願っています。

(S53年月組卒 橋本 和之) ○いつも会報ありがとうございます。皆様のご苦勞に大変感謝しています。

(S59年竹組卒 大高美智子)

会費納入のお願い



同窓会事業を継続していくには、会報等の印刷代、通信費、事務費、母校に関わる慶弔費等の諸経費がかかります。平成24年の会費納入者は約八〇〇名で約七、四〇〇名に会報第15号を送ることができました。

これからも安定した同窓会活動を続けていくために、会費納入に皆様のご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

一〇 1、000円

同封の振込用紙をご利用頂き、5月末までにお振り込み下さい。

ATMでの振込にご協力下さい

窓口振込130円・ATM振込80円というように、ATMで振り込むと50円の経費節減になりますので、是非ともご協力をお願いいたします。

2012 年度収支決算書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日現在 単位：円)

項 目	金 額	項 目	金 額
(収入の部)		会 議 費(事)	11,995
会費収入	1,321,000	旅 費(事)	0
入会金収入	34,800	通信運搬費(事)	612,881
記念誌等販売収入	0	事業費雑費	30,000
寄付金収入	0	事 業 費 計	1,077,218
雑 収 入	796	[管 理 費]	
①当期収入 計	1,356,596	会 議 費(管)	3,200
前期繰越収支額	4,520,122	旅 費(管)	0
②収 入 計	5,876,718	通信運搬費(管)	8,216
(支出の部)		事務用品代	15,526
[事 業 費]		振替手数料	79,220
総会開催費	0	管理費雑費	10,000
秋季大会費	54,012	管 理 費 計	116,162
会費出版費	354,241	③当期支出 計	1,193,380
調 査 費	0	当期収支額(①-③)	249,716
名簿管理費	8,970	次期繰越収支差額	4,683,338
広 報 費(事)	5,119	((②-③))	



連絡先は
ホームページ内、または事務局・井上まで。

も皆様の協力をお願いいたします。

第9回総会報告

平成25年5月18日(土) 午後2時
於 大井第一小学校 図書室

- 出席者 13名
- 一、会長挨拶 大野 正恒
- 二、来賓挨拶 大数見 仁校長
辻松 康晴副校長
- 三、議 事

- ①事業報告・収支決算報告及び監査報告
 - ②事業計画及び収支予算の承認
 - ③役員改選(留任)の承認
 - ④会則の一部改定の承認
- 以上の議事について承認されました。
質疑応答はホームページに掲載済。

名簿の資料提供にご協力を

ホームページに住所不明者欄を開設する
名簿委員会では、会報をお送りするために、「個人情報保護法」に則り、同窓会員の皆様の自宅住所、電話番号の個人データを厳重に管理し、保持してまいります。

転勤、転居、結婚等により変更となる場合には、事務局までお知らせ下さい。**(ホームページから)**
また、本年度からの試みとして、名簿の充実化を図るため、ホームページに卒業年・組別の住所不明者欄を開設いたしましたので、ご一覽頂いた上、住所不明者の判明に是非とも皆様の協力をお願いいたします。

寄稿のお礼と投稿のお願い

皆様のご協力で、会報第16号を発行することができました。寄稿して下さいました皆様、有難うございました。紙面の都合上割愛した箇所がありましたことをお詫び申し上げます。思い出等随時投稿をお待ちしています。11月30日までに事務局宛に

同窓会の運営にご協力を!!

同窓会では母校を支援しつつ、同窓生の親睦を図るべく活動しております。開校140周年を来年に控え、同窓会活動も活発な動きになっていきます。そこで、運営に参加して頂ける方を新たに募集いたします。

編集後記

前号からカラー化して皆様からご好評をいただきました。本号からは更にわかりやすく、A4封筒に変えました。折り目のない形で皆様の手元に「同窓会会報」をお届けいたします。会報委員会では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

編集委員

- 昭和14年卒 津田 照通
- 昭和30年卒 木村 親光
- 昭和34年卒 森 秀雄
- 昭和35年卒 平林 幹夫
- 昭和39年卒 榊原 幸子
- 昭和42年卒 井上 恵

同窓会事務局

同窓会ホームページをご覧ください。
URL <http://oildoso.net>

- 大野 正恒
〒140-0014 東京都品川区大井5-22-4
TEL・FAX 03-3772-5527
E-mail wpjny726@yahoo.co.jp
- 森 秀雄
〒140-0014 東京都品川区大井1-53-9
TEL 03-3773-0506
E-mail hide@mori-shoukai.com
- 平林 幹夫
〒140-0014 東京都品川区大井3-22-5
TEL 03-3772-9031
E-mail sp3353d9@grace.ocn.ne.jp
- 井上 幸子(旧姓 山崎)
〒140-0014 東京都品川区大井7-8-13
TEL・FAX 03-3775-6596
E-mail yama_sachiko_i_0209@festa.ocn.ne.jp

品川区立大井第一小学校
〒140-0014 東京都品川区大井6-1-32
TEL 03-3771-5240
<http://school.cts.ne.jp/oichi/>